週刊 観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体（観光全般）
新年号 第2部

観光立国の実現は地方（地域）から

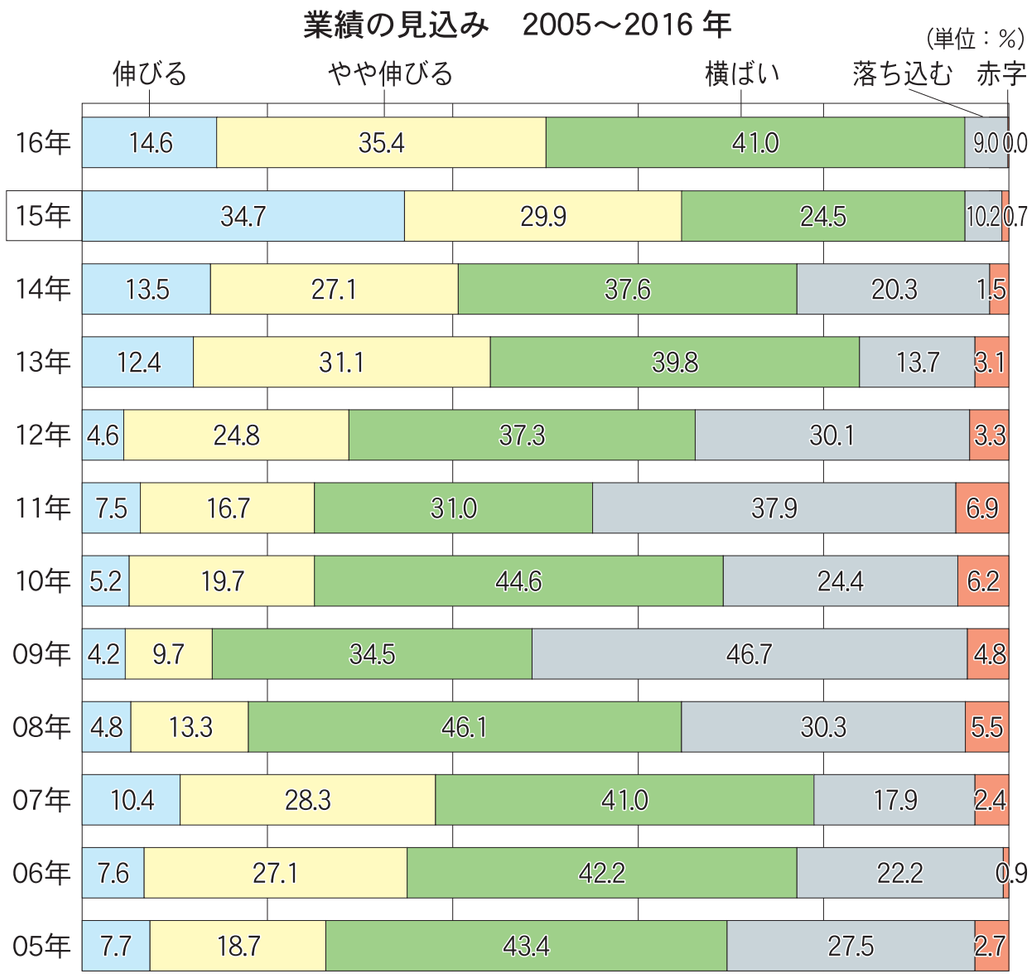
旅館・ホテル 業績は大きく改善

旅館・ホテルの業績が大きく改善したことが、観光経済新聞社がこのほど実施した経営アンケート調査で分かった。15年の業績について聞いたところ14年よりも「伸びる」または「やや伸びる」という回答が64・6%を占めた。経営の課題を聞くと、これまで多かった「売り上げ」に関する回答は減り、「人材不足」が増加した。

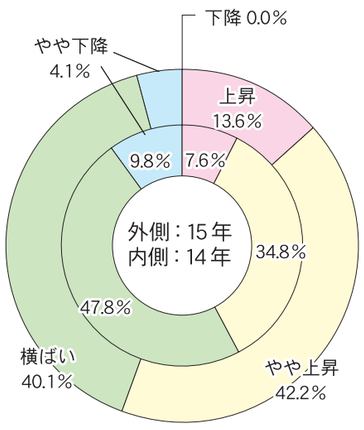
本紙 経営アンケート調査

「人材」の悩み一層

業績の見込み　2005～2016年



宿泊単価、今後の見通し



業績と経営課題

業績の質問は、前年と比較して「伸びる」「やや伸びる」「横ばい」「落ち込む」「赤字」の5段階で回答を求めた。

15年の業績見込みについて「伸びる」との回答は34・7%で前年より21・2ポイントも増加。「やや伸びる」も29・9%と2・8ポイント増え、両回答の合計は24・0ポイント増の64・6%となり、旅館・ホテルの業績が大きく改善している。「横ばい」は13・1ポイント減の24・5%、「落ち込む」は10・1ポイント減の10・2%、「赤字」は0・8ポイント減の0・7%でそれぞれ良化している。

16年の業績予想も経営者に聞いており、「伸びる」は15年の業績見込みと比べて20・1ポイント減の14・6%、「やや伸びる」が5・5ポイント増の35・4%となった。両回答の合計は50・0%と14・6ポイントの減少だが、05年から14年までの数字と見比べて悪くない。「横ばい」が16・5ポイント増の41・0%で、「伸びる」組が「横ばい」にシフトした形だ。

今後の宿泊単価は「上昇」が13・6%、「やや上昇」が42・2%、「横ばい」が40・1%と上昇を予測する向きが多い。

経営の課題は自由記入形式での回答で、最も多いのは「人材不足」や「人員確保」など。前回も突出して多かったが、今回は一極集中の様相だ。

2番目には「耐震工事」の問題が浮上。以下、「売り上げアップ」「売り上げ不振」や「生産性の向上」の回答が多く挙がる。

エージェント手数料 「高い」の声が多数

今回も旅行会社とネットエージェントの手数料率と、その手数率が高いか適正かを聞いた。

旅行会社の手数料は「15%」が54・5%と例年同様に最も多い。大手旅行会社がここを基本としているからで、数字も前回の55・8%と大きく変わっていない。

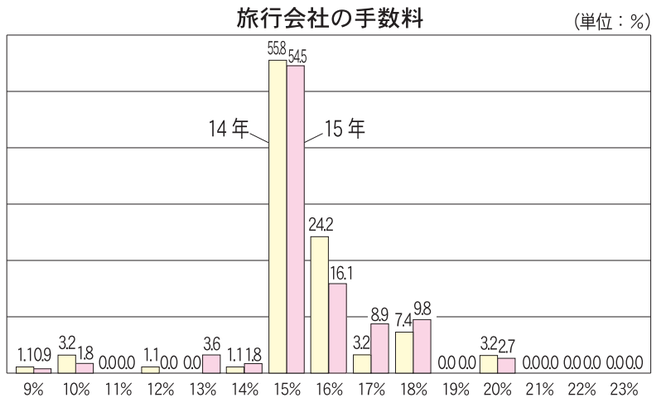
2番目が16・1%の「16%」、3番目が9・8%の「18%」だった。基本ラインの15%に企画参画料などの料金が加わった16～18%が多いのも変わらぬ傾向だ。

この旅行会社の手数料について「高い」か「適正」かの二択で聞いた。結果は「高い」が75・9%と声が大きい。残りの24・1%が「適正」の回答となった。だが、「高い」は13年85・6%、14年84・4%と80%台だったが、今回は70%台に減少している。

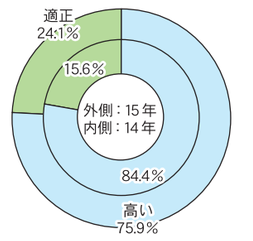
一方、ネットエージェントの手数料は「10%」が44・1となり今回もトップ。以下、15・3%の「8%」、11・7%の「9%」と続くのは前回と同じだ。

このネットエージェントの手数料については「高い」が60・6%、「適正」が39・4%となっている。

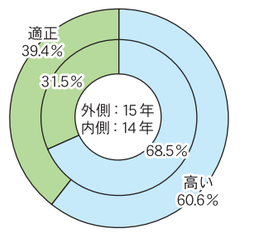
旅行会社の手数料



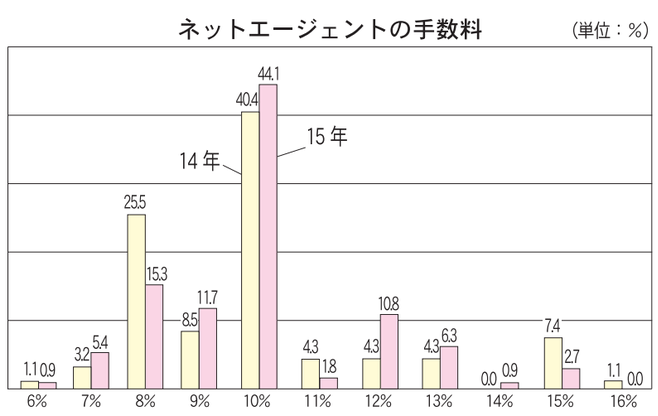
旅行会社の手数料は適正か



ネットエージェントの手数料は適正か



ネットエージェントの手数料



客室販売チャネル ネット比率高まる

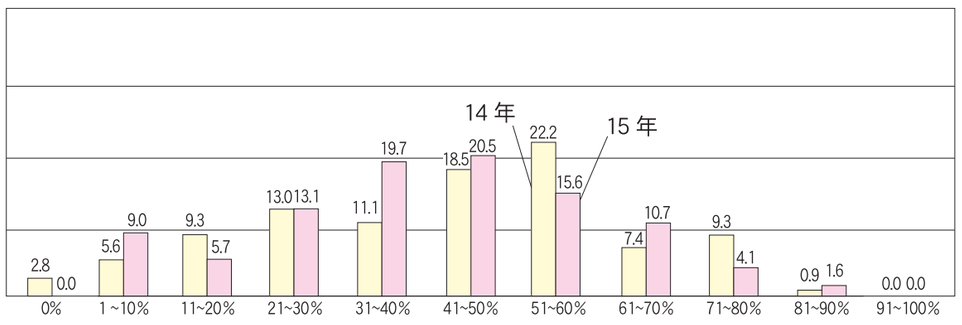
旅行会社、ネットエージェント、直販それぞれの客室の販売比率も聞いている。

旅行会社経由は、「41～50%」が20・5%、「31～40%」が19・7%で、この辺りが主流。前回は「51～60%」が22・2%で最多だったことから、旅行会社比率はやや落ちているようだ。

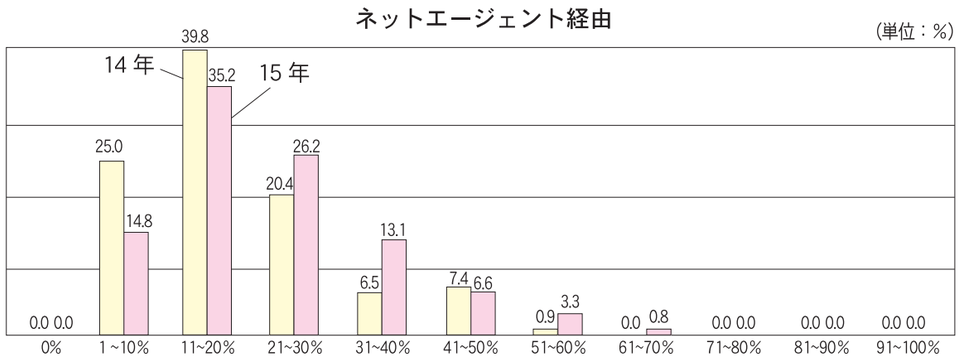
ネットエージェント経由は「11～20%」が35・2%となり、前回と同じくここが最も多い。「1～10%」が14・8%と10・2ポイント減ったのに対し、「21～30%」が26・2%と5・8ポイント増えていることなどから、ネットエージェント比率は高まっていると見られる。

直販は「11～20%」が25・2%で最も多い。「21～30%」が18・7%と4・4ポイント減、「31～40%」が20・3%と4・6ポイント増という状況から直販比率も高まったようだ。

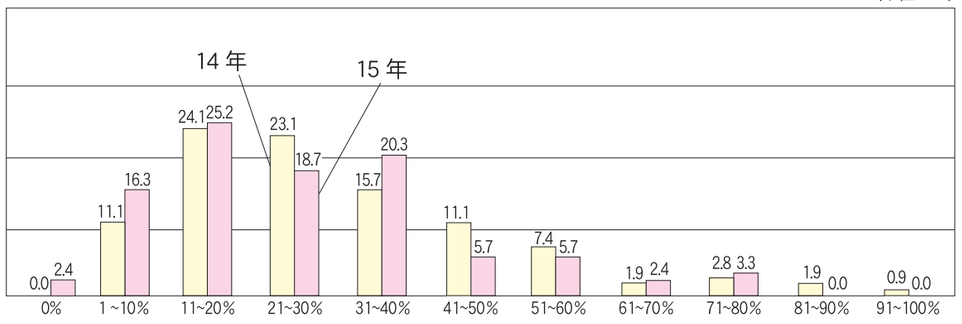
旅行会社経由



ネットエージェント経由



直販



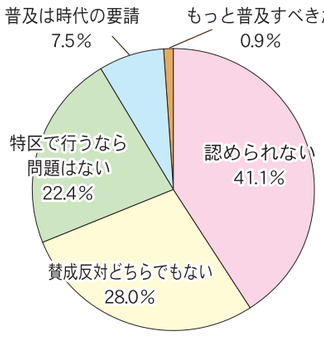
空き部屋貸しサービス 「認められない」41%

今回は初めて空き部屋貸しサービスについて五択で聞いた。結果は、「もっと普及すべきだ」が0・9%、「普及は時代の要請」が7・5%、「特区で行うなら問題ない」が22・4%、「認められない」が41・1%、「賛成反対どちらでもない」が28・0%。認められないという意見が多数を占めた。

その理由を自由回答形式で聞くと、認められないは「無免許なのにアンフェア」「旅館業法が形骸化」、特区は「期間を区切るなら良い」「都市部ならしょうがない」といった意見があった。

時代の要請は「シェアリングエコノミーが世界の潮流」の声があった。

空き部屋貸しサービスについて

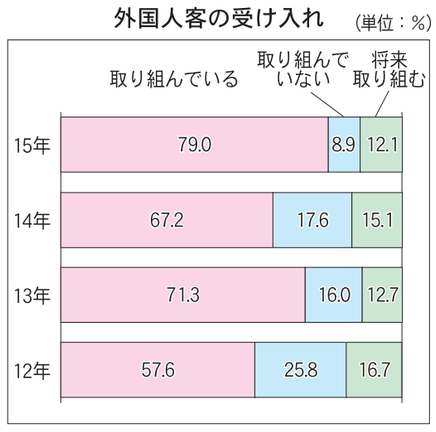


外国人客の受け入れ 「取り組んでいる」8割

外国人旅行客の受け入れに「取り組んでいる」のは79・0%で、今回も最も多かった。前回より11・8ポイント増加している。

「取り組んでいない」は8・7ポイント減の8・9%。「将来、取り組む」は3・0ポイント減の12・1%だった。

外国人客の受け入れ



調査の概要

この調査は、往復アンケートはがきを2015年11月に郵送し、旧国観連の会員を中心とした旅館・ホテルに①15年の業績（見込み）②16年の業績見込み③宿泊単価の見通し④経営上の課題⑤旅行会社、ネットエージェント、直販の各客室販売比率⑥旅行会社とネットエージェントの実質的な手数料率（企画参画料金、ポイント負担・ネット広告などを含む）⑦その手数料は高いか適正か⑧外国人観光客の受け入れ⑨空き部屋貸しサービスに賛成か反対か―などについて聞いた。

回答数は147軒。客室規模別では「10～30室」が26軒、「31～50室」が20軒、「51～75室」が31軒、「76～100室」が24軒、「101室以上」が46軒となっている。

施設のご案内
●客室50室／露天風呂・展望風呂付客室15（特別階「野の花亭」純和室5・和室8・ユニバーサルデザイン和洋室2）・和室31・洋室4／全室バス・ウォシュレットトイレ付・ご宿泊定員220名様●見はらし露天風呂／「富士の湯」「湖（うみ）の湯」●富士山の見える貸切展望風呂「芙蓉の湯」●大浴場／「豪壮 アルプスの湯」「若草の湯」●宴会場／「富士桜」（200畳・両面舞台付・4分割可）・「高砂」（100畳・舞台付・4分割可）●料亭／「小町」（個室8）・「紫」（個室6）●ホール／「麗峰」（330㎡・せり出し舞台付・2分割可）「天空」（149㎡・2分割可）「ことり座」118㎡●ロビーラウンジ「湖畔の舞」●茶席「慈恵庵」●サロン「秋桜」●カラオケルーム／「あじさい」「ゆうがお」●めん処「華水」●おみやげ処「すずらん」●絵本のお部屋「お天気や」●富士山展望台●駐車場（乗用車100台）

四季が織りなす湖畔の舞
富士河口湖温泉郷
政府登録国際観光旅館（登旅1626号）
若草の宿 丸栄
〒401-0302 山梨県南都留郡富士河口湖町小立498
☎0555-72-1371
FAX.0555-72-2568
http://www.maruei55.com
若草の宿　検索

多彩な温泉、旬彩の美食、日本の宿のおもてなし

見はらし露天風呂「湖（うみ）の湯」
富士山と河口湖を眺める［見はらし露天風呂］

大浴場「豪壮 アルプスの湯」
富士山の温泉に癒される［丸栄自慢の大浴場］

料理（イメージ）
目も舌も潤う至福のとき［季節が香る味覚膳］

【一日わずか五室の贅】
特別階「野の花亭」
宿の中にあるもう一つの小さな宿で当館最高のお料理・おもてなしにてお迎えいたします。

野の花亭客室（一例）

花と清流に彩られた、格調高く広々としたロビー

湖側スタンダード客室（一例）

「若草の宿丸栄」、「四季が織りなす湖畔の舞」、「野の花亭」は、当館の登録商標です。
見はらし露天風呂「富士の湯」